

アリランコンサート

遠藤弘子記

7月22日（日）小樽マリンホールに於いて、小樽在住の湯浅聖子さん（元韓国国営放送専属歌手）による、第15回アリランコンサートが開催されました。

15年前テレビでALSの患者さんを目にし、涙が止まらなかったと言う湯浅さんご自身も橋本病と闘いながら15年間ALS支援のための、チャリティーコンサートを開催しALS患者の皆さんを励まし続けてくださっております。

当日の客席はリピーターも多く、満員の中開始されました。舞台に先立ち、湯浅さんの親友小樽保健所長秋野先生より、日本ALS協会北海道支部への贈呈式が行われました。当日いらして下さった観客の方からの声をご紹介します。

- ・もっともっと韓国の歌が聞きたかったです。（札幌市在住のご夫婦I様）
- ・最高の舞台と感動を伝えていただきました。（上富良野町在住の患者S様）

など感動のお言葉を多くいただき、皆様心から楽しまれた様子が伝わってきました。

これは湯浅さんのお人柄によるものがとても大きいと思います。また、舞台成功の陰には、湯浅さんのご友人の皆様の力強いご協力、ご支援があったからこそと思い、心から感謝しております。

今回、残念ながら参加できなかった皆様、次回は是非ご一緒に参加いたしませんか？ 次回開催を楽しみに今日からまた日々元気に過ごしていこうと思います。



湯浅聖子さんとご一緒に